

高付加価値な電線・ケーブル製造メーカー のタツタ電線（株）

勝 矢 利 明 （かつや としあき）タツタ電線株式会社 産業電線営業部 開発担当部長

要約 タツタ電線は、1945年の創業以来、電線・ケーブル事業で培ってきた高度な技術とノウハウを、現在、電子材料やエレクトロニクス材料、光関連部品など、多彩な分野に応用し、社会に大きく貢献している。中でも、独自で開発した機能性フィルムは、スマートフォンやタブレットなどに欠かせない材料として、世界的大手メーカーの各機種に採用されている。また、近年では新たな可能性を切り拓くべく、自動車や医療といった新たな分野にも進出している。今日の安心と、明日の革新のため、タツタはつなぎ続ける。

1. はじめに

当社グループは、設立以来、永年に亘り電線・ケーブル事業に携わっているが、現在では、そこで培った導電体技術、絶縁体技術を基に、国内外で幅広い事業を展開するに至っている。

特色のある7つの事業、その一つひとつが世界で高く評価されている。

通信電線事業：電力会社や鉄道会社等に高機能、高品質の電線・ケーブルを提供するとともに、独自の材料を用いた特殊電線・ケーブルも提供している。

機器用電線事業：当社独自開発の特殊合金「高力銅合金」を使用してケーブルを製造。高い導電率を維持しながら、一般的な合金線に比べて引っ張り強さや繰り返しの曲げは2倍以上を誇るうえ、耐屈曲性が優れているので長寿命を実現する。産業用ロボット業界をはじめ、さまざまな屈曲シーンに合わせてカスタマイズ提案を行っている。

機能性材料事業：スマートフォンやタブレットなどに使われる多機能かつ艶消しブラック色を採用した「電磁波シールドフィルム」、ポリマーの配合技術と金属粉体の表面処理技術から生まれた「導電性ペースト」など、私たちが手掛ける機能性材料は、いずれも高付加価値を備えており、先進のテクノロジーを、陰ながら支える重要な役割を担っている。

ファインワイヤ事業：ボンディングワイヤは半導体パッケージを構成する重要な部材のひとつ。長年の電線事業で培った銅の伸線技術を活かし、コストパフォーマンスに優れ、近年主流となりつつある銅や、金、銀のボンディングワイヤを提供している。

機器システム製品事業：大切な資産を守るうえで欠かせない水漏れを検知する技術。近年、ビルや工場だけでなく、IoT、ビッグデータの活用などで注目を浴びるデータセンタにおいても多く採用されるこの技術に関して、これまで培ってきた固有要素技術の複合化により新たなセンシングを創出し続けている。

光部品事業：独自の光ファイバ加工技術をベースに、お客様と共に20年以上の歴史を歩んできた。目に見える光から見えない光まで、幅広い波長の光を操り、元来より特徴ある特性を持つ単体の製品のみならず、それらを組み合わせる事によって、『医療』『センシング』『分析』『照明』など幅広い分野で活躍する製品を提案、実現している。

環境分析事業：人の健康を守るために、自然環境、生活環境、職場環境における重金属、PCB、ダイオキシン類等の有害物質の分析や悪臭、騒音、振動測定などを行っている。また土地活用で求められる土壌汚染調査、製品の開発・改良や品質管理に欠かせない製品・材料分析など、様々な問題を解決するための分析実施体制を整えている。

今回は、特色のある7つの事業の中でも通信電線事